

山形教区報

発行 天理教山形教務支庁 〒994-0027 天童市桜町 11 番 1 号
TEL 023-656-8420 FAX 023-656-8425
編集 広報部 E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

立教 188 年

1 月号

第 165 号



年頭挨拶

主事 遠藤義孝

明けましておめでとうございます。
旧年中は教区活動の上にご尽力頂き、誠に有り難うございました。

真柱様は、昨年の秋季大祭のごあいさつにおいて、「三年千日の期間は、動かせていただくことが大切であります。一生懸命取り組んで、年祭の当日、おちばへ帰ってきて頂くことも、くても、その日をうれしい心で迎えることができるように、まだ三分の一残っている三年千日を、勇み心を奮い起こしてお通りくださるように」と、お示し下さいました。

ご承知のように能登地方では、昨年の元日に大地震が起こり、更に9月には豪雨と、2度も大きな災害に襲われました。また、本県でも昨年7月に、庄内、最上地方を中心に犠牲者3名を含む、過去最大の被害額に達する豪雨災害に見舞われました。

こうしたことに対し、災害救済ひのきしん

隊山形教区隊は、能登半島地震被災地に3回、山形の豪雨災害では北海道・東北ブロック出動(当初の訓練を実動に変更)を含めて5回、のべ20日間に及ぶ救援活動を行いました。

一方、「ようばく一斉活動日」が6月、11月と年2回開催され、各支部が独自に管内のようばくを勇ませるプログラムを実施し、いずれも好評を得ました。また、各部・各会においても教区の年間計画に則して、適切かつ速やかに行事を遂行することが出来ました。

真柱様が仰せ下さる「うれしい心」で年祭当日を迎えるための、十分な活動が出来たとはまだまだ言えませんが、当教区としては、精一杯に活動した一年ではなかったかと考えております。

世界を見渡せば、ロシア、ウクライナの戦争は未だ終結せず、イスラエル、パレスチナの戦闘は、中東の他の国々を巻き込むまでに複雑化し、混迷を深める年でもありました。

教祖百四十年祭まで残すところ一年。どうか悔いの残らないように活動させて頂き、「教祖にご安心頂き、お喜び頂け」ますよう、力を尽くそうではありませんか。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

第3回 ようぼく一斉活動日

■中央支部では11月3日、教務支庁を会場に、Blu-ray『けっこう源さん』を鑑賞した。参加者達は、

主人公・河原町大教会初代会長深谷源次郎先生が、心から教祖をお慕いし、繋がる信者さん達を何よりも大切にしたい信仰姿勢に強く感銘を受けた様子だった。その後、手作りの芋煮とおにぎりで昼食をとり、思い思いに歓談した。参加者数は69名。

(藤原隆宏・道友社支部社友)



■米沢支部では11月3日、置賜分教会に33名のようぼくらが参集した。自主プログラムでは、「信仰の上であなたの大切なもの」と題して、参加者同士で話し合いを行った。続いて、高田一徳・東青心分教会長のお話を聞き、その後芋煮とおにぎりで昼食を頂き、最後に昨年秋季大



祭での真柱様のごあいさつの録音を拝聴した。

(諸橋正史・支部社友)

■置賜支部では、教祖130年祭の記録DVDから「年祭の歌で振り返る」を視聴。60年祭から130年祭までの年祭の歌や当時の親里の様子、帰参者の声などに触れた。その後、コー



ヒータイムをはさんでから、4〜5名の班に分かれ、「元一日を振り返る」をテーマに40分程のトークタイムを設けた。

(武者眞・支部社友代理)



■鶴岡田川支部では、11月3日、荘内分教会を会場に開催。少年会員も含めて37名が参加し、ねりあいを行った。5つのグループに分かれて、おちば帰りの思い出やお道を信仰して良かったことなどを話し合い、賑やかに、有意義な時間を過ごした。

(鈴木伸次・支部社友)

■酒田飽海支部では11月3日、飽海分教会にて、おさづけの取り次ぎ方の勉強を行った。始めに、支部長と係員が実際に取り次いだ後に、参加者同士がペアを組み、お互いに取り次ぎ合った。その後、道友社が編集した修養科を紹介するビデオを視聴し、今後の年祭活動に更に勢いを付けるよう、呼び掛けを行った。参加者数は20名。

(牧野啓道・支部情報ねっと担当者)



■中央西支部は11月4日、左澤分教会を会場に、おさづけの取り次ぎ合いを行った。参加者は皆熱心に取り組み、有意義な時間となった。続いて、ゴミ箱とおむつ処理用の袋を新聞紙で作り、短時間に百個以上を完成させ、後日、支部内にある養護老人ホームに届けた。

(藤野徹支部長)

各会の活動報告



■青年会 (佐藤昭太郎委員長)

10月14日、浜中海岸(酒田市)にてゴミ拾いひのきしんを実施しました。今回は「スポーツゴミ拾い」のルールに則り、ひのきしんを行いました。スポーツゴミ拾いとは、制限時間内に拾ったゴミの量と質でポイントを獲得していく競技で、当日はチームに分かれて競い合い、楽しみながら清掃を行いました。また、ニュース報道などで見聞きする「海洋ゴミ」を実際に手に取り、環境問題について考えるよい機会となりました。その後、庄内空港近くの「庄内夕日の丘オートキャンプ場」に移動し懇親会を行い、空港を発着する飛行機に手を振りながら、夕暮れ前までバーベキューを楽しみました。参加者は青年会員5名、その他9名の計14名でした。

報告者

中村祐太郎・

教区青年会副委員長



■学生担当委員会 (松本真委員長)

10月5日、学生の集い「まなびば」を鶴岡分教会を会場に開催しました。昨年までは高校生が対象でしたが、今年からは大学生、専門学校生、大学院生も対象者となり、同じ地域に住む学生同士が親睦を深めながら、お道の教えに触れ、日常生活に活かせるよう実施しています。

今回は、「おやさま〜心明るく〜」をテーマに、「MANABII∞カード」を用いたグループワークを行い、「ココアカルック」という教材を使い、教祖伝逸話篇を勉強しました。

その後、松本委員長のお話をお聞きし、夕づとめの後、夕食会を行いました。参加者は、高校生1名、担当者・その他9名でした。

報告者

後藤孝一・教区学担副委員長

■災救隊

(佐々幸雄隊長)

11月26日から27日にかけて、天理・白川地区において実施された山林整備ひのきしんに5名が出動しました。結隊の後、小雨の降る中、それぞれが持参した刈払い機を使って除草作業を行いました。翌27日も午前中いっぱい、前日同様の作業を行いました。

白川地区は例年、奈良マラソンのコースの一部となり、地区内の野球場は全教野球大会で使用されます。今回は本部隊ほか26教区隊により、広大なエリアが整備されました。

報告者

松本 真・

教区隊隊員



雅楽初心者講習会

山形楽奏では 11 月 30 日、教務支庁を会場に「雅楽初心者講習会・龍笛の部」を開催し、4 名の受講者の方々がお集まり下さいました。

当日は、村山分教会長・高橋惣一先生が講師をお務め下さいました。雅楽の基本的な演奏姿勢の説明の後、参考の動画をテレビモニターに映しながら、平調「越天楽」の唱歌や、管の吹き込みの練習を行いました。4 名のうち 3 名は少年会員ということもあり、特別に用意した初心者向けの樹脂製の管を使用しました。

最初のうちは音を出すのが難しく、苦労している様子が見られましたが、丁寧なご指導のおかげで次第に曲に合った音が出せるよう

になり、雅楽の雰囲気を楽しみながら、最後まで熱心に取り組んで頂くことが出来ました。

報告者

藤野 徹・

山形楽奏代表



【訃報】

松岡 八重氏 山野邊分教会七代会長夫人(名古屋大)が 11 月 1 日出直された。享年 62 歳。中央支部

藤原 八重子氏 羽前尾山分教会三代会長夫人(名古屋大)が 11 月 19 日出直された。享年 90 歳。中央支部

山田 東助氏 羽前時田分教会二代会長(名古屋大)が 12 月 3 日、出直された。享年 102 歳。米沢支部

高橋 日出子氏 莊鶴分教会二代会長夫人(名古屋大)が 12 月 25 日出直された。享年 87 歳。鶴岡田川支部

教務支庁日誌

9 月

- 1 日 災救隊戸沢村豪雨災害本部出動
- 2 日 主事会 教区例会 婦人会例会
- 3 日 布教部例会
- 6 日 中央支部例会、同婦人会例会
- 7 日 災救隊 戸沢村豪雨災害第 3 次隊出動

12 月

- 1 日 たすけ推進委員会議 主事会 教務支庁舎大掃除
- 2 日 教区例会 地方委員会
- 6 日 中央支部例会、同婦人会例会

11 月

- 1 日 主事会 教区例会 婦人会例会
- 3 日 中央支部 ようぼく一斉活動日
- 6 日 中央支部例会
- 8 日 教務支庁舎雪囲い・植木雪吊りひのきしん
- 30 日 女子青年例会
- 24 日 雅楽初心者講習会 青年会例会
- 30 日 災救隊例会

10 月

- 2 日 主事会 教区例会 婦人会例会
- 6 日 災救隊例会
- 20 日 中央支部例会、同婦人会例会
- 6 日 女子青年例会

- 9 日 災救隊 戸沢村豪雨災害第 4 次隊出動
- 22 日 女子青年例会
- 28 日 中央、中央西支部婦人会
- 29 日 みちのだい育み塾
- 29 日 中央支部神名流し・路傍講演